

京都タワー展望室で観光情報が無料で入手可能！

タッチパネル式観光案内モニター導入開始

～「動くQRコード」や「デジタルズーム」機能を搭載したモニターは日本初^{※注}～

京都タワー株式会社（本社：京都市下京区、代表取締役社長：小川雅人）は、新たに京都タワー展望室5階に「タッチパネル式観光案内モニター」を8台設置いたしました。



展望室5階に設置された「タッチパネル式観光案内モニター」は、「情報を発信する展望室」を目指し、展望室から見える観光施設の紹介やアクセスなどを大画面で見ることができ、多言語で情報を提供しております。より多くのお客様に観光の参考としてご活用いただけるほか、利用者の興味・満足度を高める効果があると考えております。

【タッチパネル式観光案内モニターの特徴】

1. 「動くQRコード」機能

QRコードの柄が定期的に変わることで、視覚的にアプローチすることが可能となりました。ご自身のスマートフォン等へ情報を取り込むことができます（日本初^{※注}）。

2. 「デジタルズーム」機能

展望室からご覧いただけない遠方の施設も、空を飛んで現地に向かうイメージの動画を用いて見ることが可能となりました。さらに一部の施設はその周辺を360°見ることができるため、現地に立っているような体験をすることができます（日本初^{※注}）。

（※注：丸紅テクノシステム株式会社調べ。2016年2月現在）

観光都市として世界的にも人気の高い京都を訪れる方に、より詳細で分かりやすい観光情報を提供することで、「おもてなし」と「多言語対応」の両面からお客様満足度向上を目指します。さらに、3月末には展望室の内装を一新し、和を感じさせる落ち着いた空間にすることで、より展望室からの眺めを楽しむことが出来る雰囲気となりました。「京都に着いたら、まずは京都タワーへ！」と、お客様に選ばれる施設を目指してまいりますので、見学・ご取材をご希望の方は、下記お問い合わせ先までご連絡くださいませ。

■「タッチパネル式観光案内モニター」■

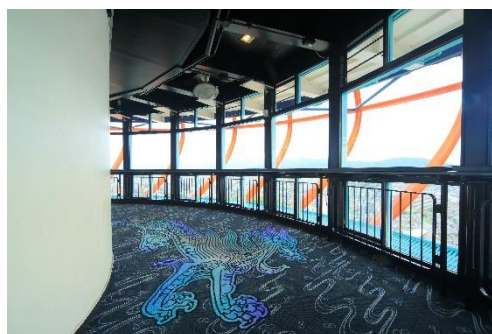
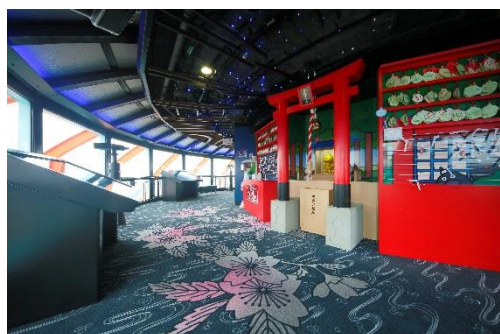
「情報を発信する展望室」を目指し設置されたモニターでは独自で収集した施設紹介やアクセス、地図などの情報をご覧いただけます。さらに施設情報と共に表示される「動く QR コード」から、ご自身のスマートフォン等への情報取り込みが可能となりました(日本初^{※注})。

また、展望室からはご覧いただけない観光施設や名所については、「デジタル・ズーム」機能(日本初^{※注})を用いることで、まるで現地にいるような体験をすることができます。さらに、多言語に対応(英語・中国語・韓国語)することで急増する訪日観光客への観光・言語面でのフォローも可能となりました。



■展望室の内装を一新■

展望室 5 階および 4 階の床面を全面張り替え、各フロアでコンセプトを持った内装へ一新いたしました。展望室 5 階は京都の代表的な花々を描き、落ち着きがありながらも華やかな内装へ、展望室 4 階は四神(青龍・白虎・朱雀・玄武)が描かれたシックな雰囲気となりました。両フロア共に描かれた柄で方角を表現することで、「眺望を楽しむ展望室」から、「眺望と空間をお楽しみいただける展望室」へ生まれ変わりました。



本企画の URL : <https://www.kyoto-tower.co.jp/info/2016/04/post-5.html>

■京都タワー株式会社概要■

【社長】 小川 雅人
【資本金】 3億円
【所在地】 京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町 721-1 (JR 京都駅前)
【設立】 1959年6月1日
【事業内容】 ホテル、タワー展望、貸室、貸店舗、物販
【公式サイト】 <http://www.kyoto-tower.co.jp>

<このリリースに関するお問合せ/ご掲載用お問合せ>

京都タワー株式会社 広報担当/遠藤・西田

TEL : 075-371-3115 (京都タワー株式会社 コミュニケーション推進室)

FAX : 075-371-3215 Email : nishida-m@kyoto-tower.co.jp

